

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN WEEKLY REPORT

2016-2017

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル
■会長/木下 福郎 ■幹事/細井 俊男 ■会報・雑誌・広報委員長/木村 猛
■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054



人類に
奉仕する
ロータリー

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com 2016-17年度 国際ロータリー会長 ジョン F. ジャーム

第1211回

2017年2月28日(火) 晴 第29回

～平和と紛争予防/紛争解決月間(2/23ロータリー創立記念日・世界理解と平和の日)～

斉唱 それでこそロータリー
出席 会員53名(出席率算入人数39名)
出席31名 出席率79.49%
前々回補填率87.80%(2月14日分)
ゲスト 中部管区警察学校長 警視長
池田 泰昭さん

会長あいさつ

会長 木下 福郎さん

皆さま、こんばんは。私事です
が、1月5日(木)に会社を移転して
東郷町に通っているのですが、
1つ驚いた事がありました。工場
の壁の3ヶ所に会社のロゴマーク
を付けてあるのですが、東郷町
からそれは宣伝広告になるので、
宣伝広告費を払ってくれと言われ
ました。私は名古屋でやっていた
時はそんなものはなかったと言
ったのですが、東郷町は違います
と言われました。一応その面積を
測って、面積×単価いくらかで
3年分を払えと言われて、払わ
されました。



自分の土地に自分のお金でロゴ
マークを描くのが、チョコレート
など一般消費者に訴えかけるも
のなら分かるのですが、自分の
会社の名前を書いただけでお
金があるのは納得できません。
調べましたら名古屋市でもそ
ういう条例はありました。ただ
その条例ができる前からやっ
ている所に対しては請求をし
ないようなので、名古屋市は
黒字の市なのでそこまで細
かくはやられないのですが、
東郷町は赤字の市町村なので
厳しくやられているみたいです。

本日はRCの危機管理委員会
についてお話ししようと思
います。皆さまはRCの中に
危機管理委員会というの
があるのをご存じですか?私
は2015-2016年度の会
長エレクトの時に、ローター
アクト委員長をやらせてい
ただきまして、その時に地
区青少年奉仕委員長会議に
参加して、地区に危機管理
委員会があるのを知りまし
た。何の為にあるのかと言
いますと、色んな新世代育
成プログラムの中で、色ん
な事故や自然災害が起きた
時の、そういうものに対し
て保険をかけて被害を最小
限にするという事で、皆さ
まの分担金の中から会員1
人当たり100円が地区危機
管理委員会に支払われてい
ます。

危機管理委員会というのはど
ちらかと言うと総務的な感
じで、青少年にあるのはお
かしいと思いましたが、何
故それが青少年委員会の中
にあるのかと言いますと、
2004年のRIの大阪世界
大会で、オーストラリアの
交換留学生が北欧に留学
した際、パストガバナーに
セクハラを受けて、数千
万円の訴訟を起こして、
大阪の世界大会で暴露し
て発覚しました。それを
きっかけにして危機管理
委員会というのがRCの中
に出来たそうです。東日
本大震災の時にほとん
どの交換留学生が、ホ
ストファミリーに連絡を
せず本国へ帰ってしま
って連絡がつかない状
況があったらしいので
すが、そういう事を防
ぐ為にも危機管理委員
会というのは今後もし
っかりと活動をしてい
くらしいです。一部の
そういう不心得なパ
ストガバナーのおか
げで、我々がそんな
保険を払わなくては
ならないというのは、
非常に迷惑な話では
ないかと思っています。

幹事報告

次年度副幹事 安藤 修さん

1. 次回3月7日(火)は例会
変更で、春の家族会です。
13時より名古屋マリオ
ットアソシアホテル1階
バス乗り場より出発し
ますので、ご参加の方
は12時50分迄に集
合してください。
2. 3月度理事会ですが、
3月14日(火)の17時
30分より17階パイン
の間にて行いますので、
幹事の皆さまはご出
席いただきますよう
宜しくお願い致します。

ニコボックス

- ◆ 中部管区警察学校長 警視長 池田泰昭様の卓話
よろしくお願ひ致します。
- ◆ タイ帰りの皆様、お疲れ様でした!お土産話聞か
せてください。

高橋 司さん 安藤 修さん 森田敏二三さん
伊藤 圭一さん 白藤 憲雄さん 中村 勝さん
川瀬 悟さん 木下 福郎さん 木村 猛さん
江松 央統さん 久米 伸治さん 三島多恵子さん
朝比美和子さん 東山 直史さん 筧 恵理さん
日下智重子さん 鈴木 一博さん 三浦 和人さん
佐々木 暢さん 本多 利郎さん 川辺 清次さん
犬飼りさ枝さん 小野 雅之さん 鈴木 清詞さん
中西 芳子さん 大橋 さなえさん 牧野 好弘さん
大平 明子さん

本日合計 41,000円 累計 1,427,500円

委 嘱 状 授 与

■ 2017～2018年度 地区委員会委嘱状
地区米山記念奨学委員 大橋さなえさん



アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん



外 部 卓 話

■ 卓話者ご紹介 会長 木下 福郎さん

本日の卓話者である池田泰昭さんをご紹介させていただきます。中部管区警察学校長、警視長です。警察の階級というのは9つに分かれていて、下から巡査、巡査部長、警部補、警部、警視、警視正、警視長、警視監、警視総監で、警視総監は日本で1人、東京にお見えになるそうです。各県の県警本部長というのは、警視長若しくは警視監がなるそうです。ですから池田警視長は、もし愛知県であれば県警本部長に匹敵する方です。略歴は昭和57年に警視庁入庁、平成元年に警察庁入庁、警察庁では少年課、人事課、総務課、鑑識課で勤務されまして、愛知県警捜査第二課長、愛知県警少年課長を平成13年～15年までやられています。

私が池田警視長とお知り合いになれたのは、平成10年～15年に私は新世代委員長をやっておりまして、その時に愛知県警の少年柔道・剣道大会の賞品をお出しするので、愛知県警を訪問しました。そこで池田課長とお目にかかり、お付き合いをさせていただいています。その後、佐賀県警警務部長、徳島県警警務部長、関東管区警察局監察課長を歴任されまして、警察大学校技術教養部長を歴任されております。本日はお忙しい中、名南RCの例会にお越しいただきまして卓話をお願いしました。皆さまにはよく聴いていただきたいと思っております。

■ 中部管区警察学校長 警視長 池田 泰昭さん

皆さま、こんばんは。ただいまご紹介に預かりました池田と申します。宜しくお願ひします。現在、中部管区警察学校という所の学校長をしております、愛知県の小牧市にごぞいます。



この学校の紹介はまた後ほどさせていただきますと思いますが、先程ご紹介がありました通り、今から約15年前になりますが、木下会長には大変お世話になりました。当時少年課長という事で、少年柔剣道大会というのがありまして、今でもお世話になっておりますが、当時は少年課長で、愛知県は少年非行が大変な時期でありまして、本当に色んな面でお世話になりました。そのままご指導を賜っておりまして、本日もお招きいただきまして本当にありがとうございます。また名南RCの皆さま方には、当時も色々お伺いしておりましたが、本当に警察活動に対しましてご指導ご支援を賜りまして、この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げたいと思ひます。本当にありがとうございます。

それでは、簡単に現在の治安情勢と、私が今は学校長という事なので、今の警察の人材育成はこんな事をやっているのだというお話と、最後に結構少年警察の経験が長いものですから、少年の健全育成についてのお話をさせていただきますと思っております。宜しくお願ひ致します。

まず治安情勢でございますが、これは新聞等で案内の通り、全国的には犯罪が減っております。交通死亡事故も減っております。それで推移はしておりますが、愛知県も減少はしております。ただし、残念ながら泥棒などの侵入盗は全国でワースト1位です。また交通死亡事故もやはり全国でワースト1位です。減ってはいるのですが、まだ全国的に一番多いという状況です。また、凶悪事件や暴力団の対立抗争も激しくなっております。そしてまた、最近特に泥棒より多くなったのではとされているのが、特殊詐欺です。これの件数と被害額は泥棒を上回っているのではないかとこの所にまで来ております。愛知県内に於いても件数・被害額共に非常に悪化している状況です。そして本日も判決がありましたが、ストーカーや配偶者からの暴力、児童虐待など、我々は人身の安全に関わる事案と言っておりますが、こういうものが非常に多くなってきております。また、高齢者による死亡事故・交通事故等も後を絶たない状況であります。

また、今はマレーシアで起きております国際テロ情勢、サイバー空間の脅威の関係など、我々組織もついて行くのが大変なほどで、サイバー関係は日進月歩しておりまして、いたちごっこのようになっております。こういう治安情勢でありまして、愛知県警察はもちろん、全国警察はまず検挙力をつけなければならないという事で、検挙力の強化、また色々な事案が起きますので、そういう事態対処能力の強化を色々力を入れてやっております。そして、努力賞ではなくてやはり成果を出さなくては駄目だという事で、色々な取り組みをしております。これは愛知県警の方から皆さま方に色々報告されていると思ひますが、そういう中で頑張っておりますので

応援をしていただきたいと思います。

次に人材育成の話をさせていただきますと、残念ながら昔に比べて件数は減っておりますが治安情勢が難しくなっております。そういう中で、我々警察組織、全国で280,000人、一般職を含めて300,000人近くおります。愛知県警も1万数千人おりますが、これが10年前から一気に若返っております。現在40%が35歳未満の警察官です。という事は、実務経験が10年以内という者がそれだけいるという事です。一番働き手の中間層が一番少ないという事で、大量退職・大量採用と我々は言っておりますが、そういう中に於いてどのように組織を強化していくかと頭を悩ませております。この10年間で急速に、毎年10,000人ずつ位が入れ替わってきましたので、ものすごく実力の低下というのが否めない状況であります。昔はゆっくり育てられました。私達もゆっくり育てていただきましたが、今の若い人達とはとにかく早期戦力化する為にどうするかという事で、色んな取り組みをしております。その中でやはり実際に部下を指導する幹部の力量を上げて、1人1人が責任を持って育てていくという事で、我々上司は若さを強さに変えようというスローガンを掲げて、取り組んでいる所であります。

警察の教育体系は、非常に学校に沢山入ります。まず警察官に採用された場合は、県警察の学校、愛知県であれば春日井市にあります。ここの警察学校に大卒であれば6ヶ月、高卒であれば10ヶ月入ります。そこを出た後もまたすぐに戻りますが、何ヶ月か入ります。その後昇任試験という厳格な試験があります。巡査部長、警部補に合格しますと、管区警察学校というのが全国に7つありますが、ここに入る事になります。ここの中部管区警察学校というのは、愛知県・岐阜県・三重県・福井県・富山県・石川県の6県を管轄しております。ここで合格した人達が入って来て小牧市に入ります。警部補で8週間、巡査部長で6週間入ります。全寮制です。子供のいる方、親の介護をしている方でも全員入って訓練をします。今は女性警察官も沢山入りますので、子供を預けてくる人もいます。警察署の課長や署長につきましては、東京の府中市にあります警察大学校という所で教育訓練を行っている状況です。学校教育はそういう形で各階級に応じて全部入ります。また職場でも当然、職場教育を行っておりますので、これを一体化させてやっていくという事です。

警察の仕事はあまりにも幅広くて、専門分野も沢山あるものですから、教育を相当しないとついてはいけません。私のいる学校はそういう状況ですが、実際警部補というのはどういう役割かと申しますと、プレイングマネージャーです。現場で一番中核となっております。自分でも仕事をし、現場の責任者として指揮をしていく。巡査部長というのはやはり現場の主任と言いますか、一番仕事の出来る者という位置づけでしております。警察は年功序列ではありませんので、年齢は関係なく受かった立場で、受かった年齢でその仕事をするという事になっております。これらを一人前にするのに、現在一生懸命やっております。多分これらの人間が将来、警察をしょって立って、将来署長などになっていきますので、どう鍛えるかが大事であります。実際、警察の活動でも警部補・巡査部長クラスが一番県

民の方と接する機会の多い者です。この者らがいかにきちんとした仕事が出来ることが大事な所にかかっておりますので、教育をきちんとやっております。

学校に於いては全寮制ですので、一応執務時間がありますが、あつてないようなもので、ずっと勉強や訓練をやっておりますので、学生達はあまり酒を飲む暇もないと言っております。これは学歴も何も関係がありません。大卒も高卒もなしに同じように試験を受けさせますので、経験も関係なしにその立場の仕事の訓練をやりませう。

ご参考になるか分かりませんが、若者世代の気質なのか、私から見ているとやはり指示がないと動けない、マニュアルのないものに対しては不得手であるなどの傾向にあります。これは皆さま方の会社の若い方もそういう所があるのかなという感じがします。ただ教えればよくやります。また不思議なのですが、我々の時とは違うのかなと思うのが、大変な仕事やものについては、何故かあまり嫌がりません。ところが、不合理なものに対しては嫌がる、又は嫌がる傾向にあります。だからよくこの仕事でこうでこれが必要なのだと理解をさせると、よく働きます。自分で考えろと言うとフリーズしますが、教えるとよく動くという感じがします。これは警察だけなのかもしれませんが。ただこれでは現場の仕事にはなりません。警察官の場合は1人1人に権限を出していますので、指示待ちであるとかマニュアルがなければ動けないのでは話になりません。もちろん最低限の事は教育しますが、千差万別の事が起きた場合に、待ってられない、瞬時に判断しなければならぬ事が沢山ありますので、うちの学校ではとにかく自分の頭でよく考えるという事を教育しています。

また失敗をさせて、ここではいくら失敗をしてもいいけれど、現場では失敗するなという教育もしております。その代わり二度と同じ失敗をするなど。多分、相当厳しい内容になっていると思います。自分の弱点を見つめさせる教育をしています。物事への目的意識もきちんと持たせてやるという事で、とにかく頭と心と体を鍛えなければならぬと色んな訓練をしております。実際現場の警察官は命をかけることもありますので、本当に自分の命、仲間の命、当然県民の方を守るのが第一ですから、自分が不甲斐ない為に出来ないというような事があってはいけません。やはり法律などが全部頭に入っていて、それを復唱できなくてはならないです。そもそも根性がないと駄目なので、色々と鍛えております。だから皆さま方の身近にいる警察官、特に私の所から出しているのは巡査部長・警部補ですが、これらはそういう訓練を積んだ者がいるという事でありまして、また応援してやりたいと思っております。卒業する者達を見ても、まだまだという者が多いですが、現場では皆さま方のご指導をいただきながら頑張っていくと思っておりますので、是非叱咤激励をしていただきたいと思います。

最後に、私は少年警察を十何年とやっております。警部と警視で警察庁、愛知県警の少年課長をやっております。その他に刑事もやっておりますが、その中で当たり前の話かもしれませんが、少年の健全育成について、私の私見を述べさせていただきます。あくまで個人的見解ですが、

外国に行って色々話し、そこの警察と一緒に捜査をした事もあります。それで色々な事を考えながら、共通点もあるのかなという感じです。

実際に刑事で道を踏み外した大人を事件で扱った事もありますが、そこで、少年も大人もそうなのですが、実際に道を踏み外した方を見ると、本当に一歩踏み間違えれば誰でも踏み外すという考えを改めて持ちました。一歩踏み間違えれば、もしかしたら私も踏み外したかもしれないと思いました。特に少年について、非行少年、問題行動を起こす少年を見てみますと、やはり愛情の飢餓、親からの愛情に飢えています。親からきちんとご飯を食べさせてもらっていません。こういうのは特に愛知県警の少年課長の時に沢山見ました。本当に可哀想でした。あとはやはり親からの虐待にあっている者もかなりおります。家庭の中、社会の中でも居場所がないという者が多かったです。これはおそらく今も変わらないと思います。そこにそういう前提があり、やはり一歩間違えれば、誰でもそういう環境になれば道を踏み外す可能性があるという事で、社会全体できちんと子供を育ていかななくてはならないと思っております。

また児童虐待の関係は、少年課長の時も多く、最近また多いです。愛知県の少年課長からここに赴任する前に、警察庁の少年課の課長補佐をしていたのですが、その時にまさしく児童虐待を担当しておりました。当時平成12年に児童虐待防止法が制定されました。議員立法なのですが、制定した時の担当課長補佐が私でした。その時に色々な省庁の方と色々な話をしました。当時からその兆しが沢山あり、関係機関、団体、社会全体で対策を講じていかないと大変な事になると分かっている、法律の中にそれが相当盛り込んであるのですが、中々それがうまくいかない部分があり、どんどん進化して法律も更に改正されています。やはり虐待されている子供達を助けなければならない。そしてとんでもない親については、反省させなければならないと常に思っていました。少年課長の時も児童相談所の署長さんとも一緒になってやりまして、子供を守り、親は教育し直さなくてはならないので、色々な事をやりました。

社会ではそういう事で親の指導も含めて社会全体で一体となって取り組んでいるところであります。愛知県警の私の後輩達も一生懸命やっております。是非応援していただきたいと思っております。あくまでも私の個人的な見解ですが、きちんとそこで育てないと、犯罪者となり悪い事をする者が出てきます。やはりこの社会全体で健全に育てていくという事が、色々な団体機関や役所も当たり前ですから、みんな力で合わせて必死になっていかないと、いつまでたってもこの世の中の治安は良くなりません。名南RCの皆さまにはお世話になっておりまして、愛知県警も頑張っておりまして、今後ともご支援・ご指導のほどよろしくお願い致します。本日はありがとうございました。

第 1213 回例会 (3月14日) のご案内

外部卓話